

平成31年度 個別学力検査(前期日程)

出題意図

小論文(120分)

保健学科鍼灸学専攻

保健学科理学療法学専攻

情報システム学科

第1問 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

配点 40

問 この文章からは、AIの発達が、業種・職種の選択及び採用選考にそれぞれどのような影響を及ぼすと、就職活動中の大学生は考えていると読み取れるか。300字以内で論ぜよ。

出題意図：第4次産業革命、society 5.0といわれる現代社会像、急速な発展を遂げる AI 技術の情報等に日ごろから関心を持ち、それを将来のキャリア設計と結び付け構想することができているか。特に、同世代の就職活動の動向と意識に関する新聞記事から情報社会と職業選択の結びつきを社会構造の変化の問題として総合的に考察できるかを問うた。

第2問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

配点 30

問 筆者の主張を踏まえて、調査型学習と探求型学習の違いについて200字以内で論ぜよ。

出題意図：調査型学習、探求型学習を単なる辞書的定義や字面レベルに留まらず、筆者の意見に沿って理解できているか。また、それを発展させ、学習観に関して独自の主張を構成できるかを問うた。

第3問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

配点 30

問1 筆者はなぜ清涼飲料水の売り上げを1番目の例では縦軸に、2番目の例では横軸にしたのか、100字以内で論ぜよ。(配点 10)

出題意図：グラフの縦軸と横軸と独立変数、従属変数の図示における一般的な関係及び原因結果の表示を理解しているか問うた。

問2 筆者の主張を踏まえ、相関があり因果関係も認められる事例と相関はあるが因果関係は認められない事例とを本文中に出ている事例以外からそれぞれ一つずつあげ、200字以内で論ぜよ。(配点 20)

出題意図：因果関係と相関関係の区別ができているかどうか。また、問題文から両者の差異に関する情報を読み取れているかどうか。さらに、両定義に合う事例を現実の例から見つけ出し的確に示すことができるか問うた。